

平成30年度「大気環境保全活動功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

推薦者	団体	個人	主な功績
北海道		ノグチ 野口 イズミ 泉	昭和60年に北海道庁の研究所に入所して以来、30年以上に亘り大気環境の研究業務(特に酸性雨など)に従事してきた。また、これまでに国等の委員会、全国環境研協議会部会や大気環境学会理事などを歴任したほか、「フィルターパック法による亜硝酸ガス濃度の測定」に関する研究で大気環境学会の論文賞を受賞している。
長野県		ササイ 笹井 ハルオ 春雄	環境保全研究所の前身である衛生公害研究所のときから研究所に勤務し、大気部や環境化学部などに所属して大気中の化学物質の調査研究業務等に従事する傍ら、環境省による化学物質に係る分析法開発にも参画し、多くの成果を成し遂げた。特に、長野県内の大気中の化学物質調査から有機ハロゲン化合物等の実態を明らかにしたほか、水試料からの有機化合物の抽出・捕集法の分類、整理を行い、分析法開発の基礎資料となっている。 また、平成19年度から企画情報課長、平成21年度から水・土壌環境部長を務め、研究所における調査研究に係る調整や後進の指導育成に努めた。更に、退職後も再任用職員などとして、その実績と技術をもって研究所職員の人材育成に尽力し、長年にわたり長野県の大気環境保全に大きく貢献した。 加えて、平成20～29年度には、研究所での経験を活かして、環境省の化学物質環境実態調査結果精査検討実務者会議の委員を務め、化学物質に係る国の環境行政に貢献した。

団体 0

個人 2

合計 2